

鈴の音だより

松阪市
Matsusaka City
松阪市民病院
2024年3月 Vol. 323

職員が誇りを持って働き、地域の皆様が誇れる病院

編集・発行 松阪市民病院
編集協力 (株) 病院新聞社

松阪市民病院など三基幹病院における 救急車利用の“選定療養費”について

【選定療養費とは?】

「初期の診療は地域の診療所等で、高度・専門医療は大きな病院で行う」という医療機関の機能分担を目的に設定された制度です。紹介状を持参せず200床以上の地域医療支援病院を受診した場合に患者さんに負担いただく費用が義務づけられており、現在三基幹病院においても運用しています。

松阪地区広域消防組合の救急出動件数は令和5年には過去最高の16,180件となり、救急体制、救急医療はひっ迫している状況です。

このような状態が続くと、「助かるはずの命が助からない」事態が発生することが考えられます。

まずはかかりつけ医、地域の診療所等を受診し、医療機関の機能・役割に応じた適切な受診が実現するよう、救急医療体制のあり方を検討し、松阪地区においても、6月1日（土）より以下に該当した場合、選定療養費として7,700円（税込み）を三基幹病院において徴収することとしました。

開始日	令和6年6月1日(土)午前8時半から
徴収の対象	救急車により、三基幹病院(松阪中央総合病院・済生会松阪総合病院・松阪市民病院)に収容され、診察等の結果、基本的に入院に至らなかった患者 【徴収対象外とする場合】 ●入院に至った方 ●公費負担医療制度の対象の方 ●労働災害、公務災害、交通事故 ●紹介状持参の方 ●災害により被害を受けた方 ●医師の判断
選定療養費	7,700円(税込み)／件(人)

【問】松阪市役所 健康づくり課 23-1364 FAX 26-4951



上手な
医療のかかり方に
ご協力ください



院内のプロフェッショナル

歯科口腔にかかる患者さんのニーズに対応

インプラント専門歯科衛生士
中西香織

インプラント専門歯科衛生士は、日本口腔インプラント学会が認定している専門職です。主にインプラント治療の術前の患者さんの口腔内の環境を整え、インプラント埋入時に感染がおこりにくいように努め、術中はオペのアシスタント、術後はメンテナンスやセルフケア指導を行いトラブルの予防や早期発見に努めます。高齢化が進む中で口腔の健康が重視され、ますます需要が見込まれるインプラント治療。患者さんのニーズに耳を傾け、専門歯科衛生士として新しいことを学び続け知識と技術の向上に努めてまいりたいと思います。

医科歯科連携・口腔機能管理
川合幸代

医科歯科連携・口腔機能管理も日本歯科衛生士会認定の専門職です。周術期口腔機能管理は、全身麻酔で手術を受けられる患者さんに対して手術前後の口腔ケア・口腔衛生指導を実施しています。また、がん治療における化学療法、放射線療法を受けられる患者さんに対しても口内炎や口腔カンジダ症など口腔内有害事象の予防を目的に実施しています。

患者さんの苦痛を少しでも軽減し、QOLを維持することに貢献できるよう多職種と連携し、患者さんの思いを傾聴し寄りそえるよう努めたいと思います。より良い口腔衛生管理が提供出来るよう、今後も自己研鑽を積んでまいりたいと思います。

在宅療養指導・口腔機能管理
宮崎くみ子 中西香織

在宅療養指導・口腔機能管理は、日本歯科衛生士会が認定する専門職です。お口の健康状態が全身の健康にも関わるということが言われていますが、近年、飲み込みにくい・むせるなど口腔機能の低下も注目されています。

私たちは入院中の口腔機能管理や退院後の口腔衛生指導などもサポートしています。う蝕や歯周病を予防することに意識を向けるだけでなく、食べることに対する目を向け、食べる楽しみ・話す楽しみも少しでも支えられるよう努めてまいりたいと思います。



4年ぶりにおせち試食会を開催♪ 「薄味でもおいしい」「患者さんに喜ばれるとと思う」

4年ぶりとなる「おせち試食会」を昨年12月30日に開催しました。開催に当たっては、188名の応募があり、抽選で30名の方に参加して頂きました。

当日は、石川圭一事務部長のあいさつに始まり、調理師によるおせちの謂れや調理法、管理栄養士によるお正月に気をつけたい栄養についての講話がありました。参加者は当院で提供するおせちを味わいながら熱心に聴かれていました。

その後アンケートにもご回答頂き、「薄味でもおいしく食べられた」、「このような食事を食べられる入院患者さんは喜ばれると思う」、「大変満足だった」などのご意見を頂きました。この日は穏やかな天気で、和やかに会を終えることができました。

また、参加者からお心遣いを頂き、8600円の募金が集まりました。今回、能登半島地震の支援金に寄付させて頂きます。ありがとうございました。



挨拶する石川事務部長

消化器内科 西脇亮医師が2学会で発表

日本臨床栄養代謝学会

「低アルブミン血症患者におけるPEGの早期死亡に及ぼす因子の検討」



2月16日、パシフィコ横浜（横浜市西区）で

日本臨床栄養代謝学会学術集会に参加し、「低アルブミン血症患者におけるPEGの早期死亡に及ぼす因子の検討」と題して発表しました。

栄養は現在、大変重要視されております。当院もNST（栄養サポートチーム）を立ち上げ、全職種が栄養の資格を持ち、協力しながら治療に当たっています。今回の学会では当院から2人が発表し、計6人が勉強に行きました。

発表内容は、胃瘻についてです。近年、胃瘻のバッシングがありますが、胃瘻が悪ではなく、不必要的栄養療法や延命が悪だと考えております。腸から吸収される胃瘻からの栄養は点滴などよりも、口からの栄養に近い栄養療法だと考えております。しかし適応を見極めるのは大切で、アルブミンというたんぱく質が体内に少ない人は胃瘻を作る危険性が高く、1ヵ月以内の死亡率が30%ほどあるとの報告もあります。

アルブミンが低くても胃瘻を作ることで救える命があるのも事実です。我々はそのような方でも適応があれば、諦めずに治療をしていきたいと考えております。そこで

アルブミンが低いが、死亡のリスクが低い方はどのような方なのかを解析をしました。

他にも栄養療法について当院の多職種で勉強してきました。リハビリをするにも栄養が必要、心臓を動かすにも栄養が大切です。急性期（命の危険がある状態）、特に敗血症の状態でも栄養療法が救命率を上げるとも報告されており、今後もより一層栄養の管理が必要になると考えております。

皆でこれからも勉強しながら、皆さんに還元していくと考えています。

日本免疫学会

「elevated plasma and bile levels of Corisin ,a microbiota-derived proapoptotic Peptide,in Patients with Severe Acute Cholangitis.」

日本免疫学会学術集会でポスター発表を行いました。日本免疫学会は基礎領域の学会です。医療では主に基礎と臨床に分かれており、普段の診察は臨床と言います。一方、基礎は細胞レベルやもっと細かい部分の研究を指します。

普段の臨床、つまり患者さん一人一人と向き合い治療にあたるのも大切なですが、分子レベルでの研究を過去の先生方が行ってきたおかげで今の検査や治療の発展につながっています。そういった偉大な先輩方から与えられた医療の常識を後世にもアップデートして残していくのが大切だと思っています。

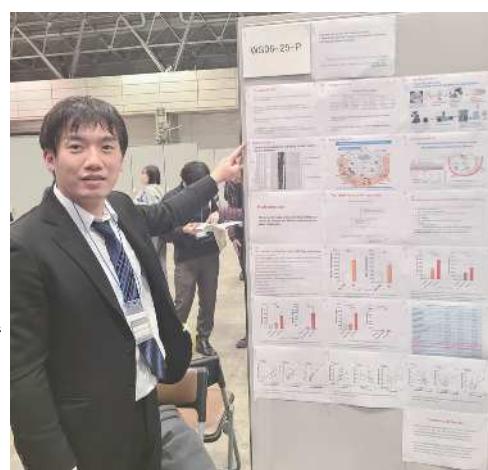
そこで今回、胆管炎の病態解明のための基礎研究でCorisinという炎症との関連についての研究を行い、発表しました。発表の内容ですが、Corisinは細菌が原因で上がるとされており、様々な炎症が悪くなる状態と関連していると言われている物質です。今回胆管内の炎症の悪化との関連や他の炎症の物質と親密な関係があることがわかりました。これが今後の新しい治療法や新しい検査の開発につながっていく信じています。この研究が今後治療や検査に役立てる日が来ると思って今後も研究を続けていく予定です。

そして、自分の発表以外にも他の先生の発表も聞かせてもらい勉強してきました。

この学会は会場がすべて英語での発表でした。普段は臨床医で研究を主に行っているわけではないため、日本語でも理解しにくい内容がたくさんありました。実際の患者さん一人一人の顔や病気を思い浮かべながら、細かい部分ではこんなことが起こっているのか、と思いを馳せながら、とても勉強になる学会だったと思っています。

今後も日々精進しながら一人一人の患者さんに寄り添って診療にあたろうと思いまますのでよろしくお願いします。

1月17日、幕張メッセ（千葉市美浜区）で



暮らしの中に運動習慣を取り入れよう リハビリテーション室

立ち上がり運動(大腿四頭筋)

椅子に座った状態から立ち上がり、座る運動です。手を使わずにを行うことで下肢への負荷は大きくなり効果が期待されます。膝に痛みがある方や手の支えがなければ立ち上がれない方は無理をせず前方に支えがある状態で行ったり、クッションで座面を高くして行ってください。太ももに体重がかかるように意識して行いましょう。

10回から20回を目標にして取り組んでみてください



つま先立ち運動(下腿三頭筋)



両足のかかとをまっすぐに上げてから元の姿勢に戻る運動です。ゆっくりと行うとより筋肉に負荷がかかります。足首が外側を向くとねんざの原因となるため注意してください。両手を壁に当てるなど、安定した状態で行いましょう。

10回から20回を目標にして取り組んでみてください

ポイント

いずれもシンプルで簡単な運動ですが、運動により日常生活の動作に重要な筋肉を鍛えることができます。日々の積み重ねが重要です。無理なく継続ていきましょう。

＼寄付しました／ 令和6年能登半島地震災害義援金 198,547円

松阪市民病院歯科口腔外科では、患者さんの了承を得て回収した金属の売却益を、日本赤十字社を通じて寄付しました。

歯科口腔外科室を紹介

患者さんに寄り添い、安心・安全な医療を提供



歯科口腔外科室のスタッフは、歯科衛生士 9名、歯科技工士 1名が在室しています。

歯科衛生士は主に外来診療の補助、口腔衛生管理、インプラントメンテナンス、病棟往診、口腔ケア、摂食嚥下機能療法などを行っています。また、全身麻酔で手術を受けられる患者さんに対して、手術前後の専門的な口腔ケア、口腔衛生指導を実施したり、がん治療における化学療法、放射線療法を受けられる患者さんに対して口腔内合併症の予防を目的に周術期口腔機能管理を実施しています。

歯科技工士は患者さんの要望や意見に寄り添った補綴装置（義歯やクラウンなど）を製作しています。また院内歯科技工士が常駐しているため、義歯の修理など迅速な対応が可能です。

今後も患者さんに寄り添い、安心・安全な医療を提供できるように心がけていきます。

能登半島地震 医療技術部 放射線室 萬濃拓朗

業務調整員として感じたこと

本年、1月1日に発災した「令和6年能登半島地震」に対し、当院は厚生労働省DMAT事務局からのDMAT派遣要請を受けました。1月6～9日に1次隊(医師1、看護師2、業務調整員1)、1月14～17日に2次隊(医師1、看護師2、業務調整員1、薬剤師1)を石川県に派遣しました。

私は業務調整員として両期間、石川県七尾市、輪島市にて社会福祉施設、避難所等で支援活動をしてまいりましたが、現地は大変な被害を受けており、人的被害、電気・水道・通信等のライフライン、さらに道路状況などが日々変化する中での支援活動は困難を極めました。

私が今回の支援活動で一番感じたことは、1つの組織だけで目的を達成することの難しさです。DMATは災害医療派遣チームですが、他機関と連携しなければまったくもって被災地に寄り添った実効性のある支援は困難です。地方自治体、警察、消防、自衛隊等の他機関と協力する必要性、またその難しさを改めて実感しました。そして、今後他機関との交流、研修、訓練を重ね、いつか来るであろう南海トラフ地震に向けて準備していかなければならないとも感じました。

最後に能登半島地震により犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の1日も早い復旧をお祈りしております。



